会　報

社団法人　日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-40-9
ニュー赤門ビル 4F
TEL：03-5684-6886
FAX：03-5684-6936
E-mail　jsp-admin@umin.ac.jp
http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会　　第 282 号　　平成 23 年（2011 年）7 月刊

1. 第 59 回（平成 25 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 103 回（平成 26 年度）学術集会会長の募集について（公募のお知らせ）

社団法人日本病理学会は，第 59 回（平成 25 年度）秋期特別学術集会会長ならびに第 103 回（平成 26 年度）学術集会会長を以下のとおり募集いたします。

学術評議員各位

平成 23 年 7 月
社団法人日本病理学会
理事長　青笹　克之

日本病理学会秋期特別学術集会（秋期特別総会）の会長ならびに学術集会（春期総会）の会長は，定款施行細則の定めるところにより，いずれも理事会が選考し，総会において決定しています。

ここに，第 59 回（平成 25 年度）秋期特別学術集会会長ならび第 103 回（平成 26 年度）学術集会会長を，下記の要領により募集いたします。

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は，第 59 回秋期特別学術集会会長の場合は平成 25 年 11 月 1 日に，また，第 103 回春期学術集会会長の場合は平成 26 年 4 月 1 日にそれぞれ満 65 歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 第 59 回（平成 25 年度）秋期特別学術集会会長の応募は，関東地区からの限定とすること
（なお開催地は，会長所属機関と異なる利便性の高い場所を選択することもできる）。
4. 応募者は，日本病理学会学術集会改革案（平成 18 年 5 月 1 日決定　会報 221 号平成 18 年 6 月掲載）の趣旨を踏まえて，所定の用紙に学術集会に対する考え方，学術集会の具体的な実行計画，日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。
5. 応募の締切りは，平成 23 年 9 月 30 日（消印有効）までとすること。

なお，所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら，本学会事務局までお問い合わせください。

2. 理事会および総会

平成 23 年 3 月 28 日に大阪千里ライフサイエンスセンター，および 4 月 27 日にパシフィコ横浜にて理事会が開催され，4 月 29 日には学術評議員会・病理専門医部会，4 月 30 日には総会が開かれた。総会の席上で，第 12 回（平成 22 年度）学術奨励賞授賞式が行われた。また，4 月 29 日には，日本病理学会 100 周年記念式典が挙行された。

これらの理事会，学術評議員会および総会では，理事長，委員会委員長の報告があった。協議事項としては，総会においては平成 22 年度事業報告並びに収支決算報告，新名誉会員 28 名の推戴者並びに新学術評議員 76 名の候補者，会費値下げ案，口腔病理専門医制度規程改訂案，学術評議員定年制導入に関する件，東日本大震災被災者支援の件が諮られ，それぞれ理事会承認の原案どおり決定した。また理事会では，総会における役員選任方法についての取り決め，100 周年記念事業に関する件，第 100 回総会開催の件，会費値下げ案に関する件，各種委員会委員の選出，平成 22 年度下期の新入会員 125 名（年度合計 267 名）が，協議の結果それぞれ原案のとおり承認された。

3. 学術集会

(1)　第 100 回総会（平成 23 年度）

東京大学を世話機関として深山正久会長，宮園浩平副会長のもとで，平成 23 年 4 月 28 日（木）～ 4 月 30 日（土）の 3 日間，パシフィコ横浜て開催された。

宿題報告は，岡安　勲名誉教授（北里大学）による「潰瘍性大腸炎の発症・持続とその大腸発癌・進展機序 ― 慢性臓器炎 ― 発癌系のモデルとして ―」，宮園浩平教授（東京大学）による「がんの浸潤・転移のシグナルネットワーク」の 2 題であった。

特別企画として「病理学の研究　未来に向かっての提言」があり，北川知行先生（癌研名誉所長）が「形態学と総合性の豊かな未来」，恒吉正澄先生（九州大学）が「古くて新しい人体病理学 ― 診断病理学の煌き」，岡田保典教授（慶應義塾大学）が『「統括病理学」の時代における病理学研究』の講演があった。

特別講演は，森　茂郎先生（100 周年記念誌刊行委員長）による「日本病理学会の 100 年：その役割の変遷」，教育講演は，月田早智子先生（大阪大学）による「上皮細胞シートによる生体制御システムの構築とその異常による病態」，押村光雄先生（鳥取大学）による「ヒト人工染色体の医学・薬学への応用」，Dr. Andrew H Wyllie（Cambridg 大学）による「DNA Copy Numbering in Colorectal Cancer：New Results and New Conclusions」，審良静男教授による「自然免

疫と病原体認識」，門脇　孝教授による「糖尿病と病理」，Dr. Ralph H. Hruban（Johns Hopkins 大学）による「Pancreas Pathology in the Era of Whole Genome Sequencing」，Dr. Thomas Kirchner（LMU）による「Stem cells in colon and other cancers」の 7 題が行われた。

また，深山正久教授（東京大学）による会長講演「人体病理学の展開 ― 次の 100 年をつくるために」も行われた。一般演題は 1,085 題が発表された。

このほかシンポジウム 5 件，ワークショップ 16 件，診断ワークショップ 7 件，オープンフォーラム 6 件，ランチョンセミナー 20 件，コンパニオンミーティング 10 件，若手育成用セミナー 4 件の発表と討論があった。学生ポスター発表，および学術奨励賞受賞者ポスター発表も行われた。

また，系統的・剖検病理診断講習会（分子病理学キーワード，剖検講習会，異常死，病理検体の研究への応用，医療安全）および臓器別病理診断講習会（肝臓，リンパ，乳管，中枢神経・脳腫瘍，消化管，呼吸器）が開かれた。

⑵　今後予定されている総会は以下のとおりである。

1）　第 57 回（平成 23 年度）秋期特別総会
世話機関：昭和大学
会　　長：諸星利男教授
会　　期：平成 23 年 11 月 17 日（木）～ 18 日（金）
会　　場：日本教育会館

2）　第 101 回（平成 24 年度）総会
世話機関：慶應義塾大学
会　　長：岡田保典教授
会　　期：平成 24 年 4 月 26 日（木）～ 28 日（土）
会　　場：京王プラザホテル

3）　第 58 回（平成 24 年度）秋期特別総会
世話機関：藤田保健衛生大学
会　　長：黒田　誠教授
会　　期：平成 24 年 11 月 22 日（木）～ 23 日（金）
会　　場：ウインク愛知（名古屋）

4）　第 102 回（平成 25 年度）総会
世話機関：札幌医科大学
会　　長：佐藤昇志教授
会　　期：平成 25 年 6 月 6 日（木）～ 8 日（土）
会　　場：ロイトン札幌他

4.　常任理事会等報告（横浜　総会時）

⑴　選挙制度改革における役員選任方法について，学術評議員により選出された役員候補者の総会での役員選任は，理事会の申し合わせに則り行う事が理事会において承認された。

⑵　癌取り扱い規約に関して

・『癌取り扱い規約委員会』を拡大強化する事及び『拡大癌取り扱い規約委員会』の委員構成が報告され，これが承認された。

・現在共同編集を行っている泌尿器科学会，産婦人科学会，脳神経外科学会に対しては，頁数に按分した担当学会への印税の支払い等を提案している事及びその具体的内容が報告された。

⑶　国際交流委員会に設置される『日中交流ワーキンググループ』のメンバー 6 名を決定した。

⑷　研究推進委員会からの提案について

・優秀ポスター発表者を顕彰することとした。

・病理学会カンファレンスの生涯学習単位を 5 単位から 10 単位に増加することについて，病理専門医制度運営委員会に検討を依頼することとした。

・第 8 回病理学会カンファレンスは平成 23 年 8 月 5-6 日（信州大学　中山淳世話人）に松本市で行われる。テーマ「病理学におけるグライコーム研究」。是非若い会員にご参加いただきたい。

・来年の第9回病理学カンファレンスは池田栄二先生（山口大）に世話人をお願いすることになった。

⑸　年会費未納者の取り扱いについて寺田副理事長を中心に検討されている事が報告された。

⑹　学術委員会から，演題応募資格改定案がだされ，承認された。第 101 回総会から適用する。筆頭演者が会員であれば，共同演者は会員でなくてもよいことになった。

⑺　学術評議員制度に関して。現役の学術評議員に学会の運営を委ねるようにするために 65 歳定年制を導入することに関する意見募集をホームページに掲載したところ，概ね賛成の意見が寄せられた。

⑻　倫理委員会から提出された『医学研究の COI マネージメントに関する指針施行細則』が承認された。実施のための COI 委員会を設置することとした。

⑼　昨年 12 月，厚生労働省医政局への乳癌，胃癌の HER2 検査の保険償還の要望書提出に青笹理事長が出席した際，この検査に関する病理学会自身のガイドラインがない事を指摘された事が報告された。医療業務委員会委員長根本則道理事を中心に，病理学会の乳癌および胃癌の HER2 検査のガイドラインの作成作業を行っている。

⑽　日本病理専門医制評価・認定機構について。日本病理学会は，基本領域学会のメンバーとして，この機構の一員となっている。将来この機構が現在病理専門医制度運営委員会の行っている専門医認定を行うことになる。

⑾　学術評議員資格の基準の検討のために，向井副理事長を中心としたワーキンググループを立ち上げ，検討を進める。

⑿　日本病理学会は平成 25 年 11 月末迄に新制度に於ける公益社団法人あるいは一般社団法人に移行しなければならない。WG による検討をふまえて，一般社団法人での申請を行うこととした。この件は 3 月 28 日開催の理事会に諮り承認された。のちほど寺田副理事長より説明をする。

⒀　病理専門医制度運営委員会報告

①　日本病理学会で研修手帳を作成し，病理専門医研修者に配布する件について報告され，承認された。

② 本年 3 月 12，13 日神戸で開催された細胞診講習会には，93 人の申込者のうち 79 名は参加できたが，東日本大震災の影響により 14 名（8 名は今年の病理専門医受験者）は欠席となった。この 14 名のうち希望者 12 名に，6 月 4 日，東京大学にて補講を行うことが承認された。

③ 病理専門医試験は会場を名古屋大学に変更し，日程（7 月 30，31 日）どおり実施する。

⑭ 東日本大震災の影響で，コンサルテーション業務が円滑に行えないため，しばらくの間，日本病理学会のコンサルテーション業務を休止することとした。

⑮ 脳腫瘍をテーマにした今年の診断病理サマーフェストは会場を京都大学に変更して日程（8 月 27, 28 日）どおりに開催する。

⑯ 第 57 回（平成 23 年度）秋季特別総会学術研究賞演説（A 演説）・B 演説担当者選出の件

A 演説は 21 名の応募中 9 名が選ばれ，B 演説は，5 名の応募中 2 名が選ばれた事が報告され，これを承認した。

⑰ 口腔病理専門医制度規定改定の件はのちほど協議事項で説明する。

⑱ 震災関連問題の協議

① 第 100 回総会について

常任理事会，理事会での慎重な意見交換の結果，理事全員の賛成により，規模を縮小して日程通りに開催することを承認した。

② 東北関東大震災被災地への支援の取り組みについて

理事会において，青笹理事長から，病理学会員に義援金を募る事が提案され了承された。他に，病理学会から資金を拠出し義援金を送る案，被災地の東北支部に病理学会から援助を行う案が提案された。常任理事会で検討した結果，以下のように意見がまとまった。

ⅰ 病理学会一般会計，100 周年記念事業から寄付金を拠出する。併せて 1,000 万円

ⅱ 会員への義援金の呼びかけを行い，学会期間中の受付デスクに呼びかけ文とともに募金箱を設置する。集まったお金は日本赤十字社を通じて被災地へ送る。

③ 東北支部への支援について

支部の事務運営に使用されている機器のうち，損壊したものについての購入等への補助を行う。

以上が青笹克之理事長より説明された。

⑲ 新法人制度移行について寺田信行副理事長から下記のとおり説明があった。

① 公益社団法人制度の骨子が下記のとおり説明された。

・公益社団法人の組織運営機構（内部統治機構）は，一般社団法人と同じである。

・事業内容が主に公益事業の場合，申請すれば公益社団法人として認可され，税制上の優遇が与えられる。

・しかし，それと引き換えに，財政運営における制約が課され，監督官庁の厳格な監督を受ける。

② 一般社団法人，公益社団法人選択における要点として下記のことがあげられた。

・一般社団法人も公益社団法人も運営機構（内部統治機構）は同じである

・このため「公益社団法人での税制上の優遇と財政運営における制約，官庁の監督強化を天秤に掛けた時どのくらいメリットがあるか。」が選択の基準となる

③ 上記の要点の検討結果をふまえて，下記の結論がくだされたことが報告された。

・公益社団法人での税制上の優遇のメリットは現在の病理学会の財政運営状況から判断して少なく，又，公益法人制度が新しい制度であり，監督官庁の監督の基準，範囲も不明確である。

・以上の理由で，一般社団法人を選択し，一般社団法人申請の準備に入る。

・公益社団法人化については，他学会等での公益社団法人制度の運用状況を調査して今後判断する。

④ 上記につき，フロアの前田盛学術評議員より，病理学会はその活動内容のほぼすべてが公益事業であることを考えると，公益社団法人を目指すべきではないかという意見があった。

⑤ ④ について，まずは一般社団法人に申請をする方向を考えているが，その後状況をみて公益社団へ移行する可能性も念頭においている旨，説明された。

⑳ 寺田信行副理事長より，企画委員会報告として学術評議員資格を，向井清副理事長を委員長とした検討ワーキンググループを設置し，検討する旨報告された。

㉑ 岡田保典広報委員長より，現在改訂中の HP について下記のとおり説明があった。

① 笹氣出版印刷株式会社が東日本震災で被災したため，大幅な遅れがあるものの，7-8 月頃には完成予定。

② 現在，各委員会や会員から種々の希望を募っている段階である。

③ 最終的な決定は広報委員会に一任していただく。

㉒ 深山正久病理専門医制度運営委員長より下記の報告があった。

① 本年の専門医試験会場は，名古屋大学に変更となった。

② 震災の影響で厚生労働省の死体解剖資格の審査も遅滞しているようである。この件については提出に猶与期間を設けるので，本日現在認定証が届いていない人も，申請を前向きに検討して欲しい。

5. 100 周年記念事業実行委員会からの報告（横浜　総会時）

⑴ 今回の 100 周念記念事業に対し，会員から 2,000 万円超，企業から約 1,000 万円と，予定を上回る多くの寄付が寄せられたことが長村義之 100 周年記念事業財務委員長より報告され，お礼の言葉がのべられた。またこれらの寄付金と学会基金から準備した 2,000 万円を合わせた約 5,000 万円につき，余剰金がでる見込みである。それについては「100 周年記念事業特別会計」のようなかたちで財務委員会，100 周年記念財務委員会にて慎重に協議しながら使用していきたい旨が述べられた。

⑵ 深山正久 100 周年記念事業事務局長より，100 周年記念誌については，印刷所が被災した関係で出版が遅れており，今回の総会では仮の DVD を配布したことが報告された。また，記念誌完成後には，寄付者へ本冊を送付し，各支部から会員へ DVD を配布するとのことである。

6. 平成 22 年度事業報告並びに決算報告

平成 22 年度事業報告並びに収支決算報告が以下のとおりである。協議の結果，提案は承認された。

⑴ 平成 22 年度事業報告

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日まで

I. 学術集会，研究会等の開催

1. 学術集会の開催

⑴「第 99 回日本病理学会総会」（於東京・樋野興夫会長）を開催

⑵「第 56 回日本病理学会秋期特別総会」（於北九州・橋本　洋会長）を開催

2. 研究会，講習会等の開催

⑴ 第 7 回日本病理学会カンファレンス（2010 岡山 8 月 6 日・7 日）を実施

⑵ 細胞診講習会（於神戸市　3 月 12 日・13 日）を実施

⑶ 病理診断講習会（於東京都　4 月 27 日～ 29 日）を実施

⑷ 第 4 回診断病理サマーフェスト（於京都市 8 月 28 日・29 日）を実施

⑸ 各支部における「学術・研究集会」等を実施

3. 公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌，学術図書等の発行

1.「日本病理学会会誌」（第 99 巻第 1 ～ 2 号）を発行

2.「Pathology International」（Vol. 60 4～12, Vol. 61 1～3）を発行

3.「診断病理」（第 27 巻第 2～4 号, 第 28 巻第 1 号）を発行

4.「日本病理学会会報」（第 267～278 号）を発行

5.「お知らせ」（第 1 号～3 号）を発行

6.「病理専門医部会報」（2010 年第 2～4 号，2011 年第 1 号）を発行

III. 研究および調査

1.「日本病理剖検輯報」第 51 輯（平成 20 年症例）を発行

2. 剖検輯報編集方法の変更・充実

3. 剖検記録データベースの再構築

IV. 病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験（於京都市）の実施及び資格の更新

2. 病理専門医の広告

3.「病理専門医研修手帳」の実施

4. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新

V. 学術団体との協力，連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）を実施

2. 腫瘍取扱い規約等の改訂

3. 海外病理学会との交流

⑴ 英国病理学会との会員の相互派遣，学術交流を実施

⑵ アジア各国との学術交流を実施

VI. その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学賞（宿題報告）を 3 名に授与

2. 日本病理学会学術奨励賞を 7 名に授与

3. 日本病理学会学術研究賞(A 演説)を 7 名に授与

4. 病理学卒前教育の充実

5. 病理診断コンサルテーションシステムの充実

6. インターネットホームページの充実

7. 病理専門医制度運営，医療業務，学術・研究等の各種委員会の開催

8. 日本病理学会 100 周年記念事業実施準備

9. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施

⑵ 平成 22 年度収支決算報告

1） 収支計算書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

（単位　円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
I.　収入の部				
1.　基本財産運用収入	**50,000**	**9,248**	**△ 40,752**	
受取利息収入	50,000	9,248	△ 40,752	
2.　会費収入	**70,560,000**	**85,316,000**	**14,756,000**	
正会員・学術評議員会費	28,000,000	32,598,000	4,598,000	
同終身会費	3,000,000	4,300,000	1,300,000	
同一般会員会費	27,000,000	34,078,000	7,078,000	
学生会員会費	10,000	0	△ 10,000	
賛助会員会費	150,000	100,000	△ 50,000	
機関会員会費	400,000	380,000	△ 20,000	
病理専門医部会員会費	12,000,000	13,860,000	1,860,000	
3.　事業収入	**132,700,000**	**150,715,330**	**18,015,330**	
学術集会収入	90,000,000	107,152,172	17,152,172	
論文掲載料収入	900,000	779,172	△ 120,828	
広告料収入	800,000	634,200	△ 165,800	

刊行物発行収入	14,000,000	11,622,000	△ 2,378,000	
専門医制度収入	16,000,000	18,790,000	2,790,000	
病理専門医部会収入	4,000,000	4,134,502	134,502	
講習会等収入	4,500,000	5,030,000	530,000	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,573,284	73,284	
4. 寄付金収入	**0**	**30,440,500**	**30,440,500**	
100周年記念事業寄付金収入	0	30,440,500	30,440,500	
5. 特定資産取崩収入	**3,400,000**	**17,684,959**	**14,284,959**	
学術医療振興基金取崩収入	3,400,000	3,440,000	40,000	
100周年記念事業引当預金取崩収入	0	14,244,959	14,244,959	
6. 雑収入	**4,400,000**	**7,611,874**	**3,211,874**	
受取利息収入	400,000	69,601	△ 330,399	
雑収入	4,000,000	7,542,273	3,542,273	
当期収入合計（A）	**211,110,000**	**291,777,911**	**80,667,911**	
前期繰越収支差額	**45,481,000**	**67,020,211**	**18,013,620**	
収入合計（B）	**256,591,000**	**358,798,122**	**98,681,531**	

（単位　円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
II. 支出の部				
1. 事業支出	**166,500,000**	**196,638,461**	**30,138,461**	
学術集会経費	89,500,000	109,666,992	20,166,992	
学会誌発行経費	15,000,000	16,626,105	1,626,105	
会報・お知らせ発行経費	3,000,000	1,498,310	△ 1,501,690	
剖検輯報刊行経費	11,000,000	10,095,514	△ 904,486	
専門医制度運営経費	9,000,000	10,652,687	1,652,687	
病理専門医部会経費	8,000,000	9,257,890	1,257,890	
支部運営経費	6,500,000	6,500,000	0	
学術奨励等経費	3,500,000	3,572,673	72,673	
講習会等経費	4,500,000	4,758,784	258,784	
各種委員会経費	3,500,000	4,102,949	602,949	
事業人件費	8,000,000	5,700,738	△ 2,299,262	
租税公課	5,000,000	0	△ 5,000,000	管理費で支出
病理情報ネットワークセンター設立経費	0	9,717,000	9,717,000	
100周年記念誌刊行経費	0	4,200,000	4,200,000	
100周年記念事業経費	0	288,819	288,819	
2. 管理費	**28,530,000**	**33,228,498**	**4,698,498**	
人件費	10,000,000	11,806,845	1,806,845	
福利厚生費	2,500,000	2,814,853	314,853	
交通費	400,000	683,080	283,080	
通信運搬費	3,000,000	1,366,034	△ 1,633,966	
会議費	2,000,000	2,488,261	488,261	
印刷費	2,500,000	1,831,077	△ 668,923	
備品費	200,000	0	△ 200,000	
消耗品費	500,000	544,743	44,743	
光熱費	230,000	235,175	5,175	
賃借料	2,700,000	3,877,551	1,177,551	
諸会費	900,000	400,000	△ 500,000	
補助金	0	0	0	
修繕費	100,000	0	△ 100,000	
嘱託料	2,500,000	2,591,100	91,100	
租税公課（消費税等）	500,000	859,500	359,500	
（法人税等）	0	3,033,800	3,033,800	予算を事業費で計上
雑費	500,000	696,479	196,479	
3. 特定預金支出	**4,600,000**	**36,370,972**	**31,773,186**	
退職給付引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
学術医療振興基金取得支出	3,000,000	4,324,658	1,324,658	
国際交流基金取得支出	0	5,814	8,028	
100周年記念事業引当預金取得支出	0	30,440,500	30,440,500	
4. 予備費	**3,000,000**	**0**	**△ 3,000,000**	
当期支出合計（C）	**202,630,000**	**266,237,931**	**63,610,145**	
当期収支差額（A－C）	**8,480,000**	**25,539,980**	**17,057,766**	
次期繰越収支差額（B－C）	**53,961,000**	**92,560,191**	**35,071,386**	

2）貸借対照表

平成23年3月31日現在

（単位，円）

科　目	金　額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	111,643,027		
前　払　金	201,243		
未　収　金	408,855		
流動資産合計		112,253,125	
2. 固定資産			
基本財産			
基本財産	30,000,000		
基本財産合計	30,000,000		
その他の固定資産			
特定資産			
学術医療振興基金	99,875,176		
100周年記念事業引当預金	39,855,651		
国際交流基金	20,139,644		
退職給付引当預金	19,100,000		
特定資産合計	178,970,471		
什器備品	84,957		
保証金	930,000		
その他固定資産合計	179,985,428		
固定資産合計		209,985,428	
資産合計			**322,238,553**
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	1,770,000		
未払金	13,106,284		
預り金	4,816,650		
流動負債合計		19,692,934	
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,100,000		
固定負債合計		19,100,000	
負債合計			**38,792,934**
III. 正味財産の部			
正味財産			**283,445,619**
（うち基本金）			（30,000,000）
（うち正味財産当期増加額）			（42,625,993）
負債及び正味財産合計			**322,238,553**

3）正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

（単位，円）

科　目	当年度	前年度	増　減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			

① 基本財産運用益	9,248	12,019	△ 2,771
基本財産受取利息	9,248	12,019	△ 2,771
② 受取会費	85,316,000	74,692,000	10,624,000
学術評議員会費	36,898,000	29,212,000	7,686,000
一般会員等会費	34,558,000	33,408,000	1,150,000
病理専門医部会費	13,860,000	12,072,000	1,788,000
③ 事業収益	150,715,330	135,440,483	15,274,847
学術集会収入	107,152,172	94,330,511	12,821,661
論文掲載料収入	779,172	1,160,828	△ 381,656
広告料収入	634,200	936,600	△ 302,400
刊行物発行収入	15,756,502	16,124,013	△ 367,511
専門医制度収入	18,790,000	15,942,000	2,848,000
講習会等収入	5,030,000	4,421,000	609,000
賠償保険事務費収入	2,573,284	2,525,531	47,753
④ 受取寄付金	30,440,500	3,680,000	26,760,500
100 周年記念事業寄付金収入	30,440,500	3,680,000	26,760,500
⑤ 雑収入	7,611,874	4,732,353	2,879,521
受取利息	69,601	110,923	△ 41,322
著作権協会分配金	40,740	899,200	△ 858,460
科学技術振興事業団	112,031	542,640	△ 430,609
PatholInt ロイヤリティ	0	2,510,240	△ 2,510,240
医中雑刊著作権使用料	0	25,620	△ 25,620
刊行物編集協力金	1,028,160	621,240	406,920
雑収入	6,361,342	22,490	6,338,852
経常収益計	**274,092,952**	**218,556,855**	**55,536,097**
(2) 経常費用			
① 事業費			
学術集会費	109,666,992	93,061,189	16,605,803
学会誌発行費	16,626,105	27,317,770	△10,691,665
会報発行費	1,498,310	2,948,400	△ 1,450,090
剖検輯報発行費	10,095,514	10,921,737	△ 826,223
専門医制度運営費	10,652,687	10,008,963	643,724
病理専門医部会費	9,257,890	8,429,997	827,893
支部運営費	6,500,000	6,500,000	0
学術奨励等費	3,572,673	3,174,705	397,968
講習会等経費	4,758,784	3,406,101	1,352,683
各種委員会費	4,102,949	4,350,703	△ 247,754
事業人件費	5,700,738	5,828,014	△ 127,276
病理情報ネットワークセンター設立	9,717,000	0	9,717,000
100 周年記念誌刊行経費	4,200,000	0	4,200,000
100 周年記念事業経費	288,819	0	288,819
事業費計	**196,638,461**	**175,947,579**	**20,690,882**
② 管理費			
人件費	11,806,845	8,464,998	3,341,847
退職給付引当金繰入	1,600,000	1,600,000	0
福利厚生費	2,814,853	2,145,720	669,133
交通費	683,080	270,000	413,080
通信運搬費	1,366,034	2,776,736	△ 1,410,702
会議費	2,488,261	1,658,312	829,949
印刷費	1,831,077	1,963,105	△ 132,028
消耗品費	544,743	255,483	289,260
光熱水道費	235,175	241,254	△ 6,079
賃借料	3,877,551	3,958,243	△ 80,692
諸会費	400,000	900,000	△ 500,000
嘱託料	2,591,100	2,458,500	132,600
租税公課	3,893,300	7,035,517	△ 3,142,217
雑費	696,479	599,843	96,636
管理費計	**34,828,498**	**34,327,711**	**500,787**
経常費用計	**231,466,959**	**210,275,290**	**21,191,669**
当期経常増減額	**42,625,993**	**8,281,565**	**34,344,428**
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	42,625,993	8,281,565	34,344,428
法人税，住民税及び事業税			0
当期一般正味財産増減額	42,625,993	8,281,565	34,344,428
一般正味財産期首残額	240,819,626	232,538,061	8,281,565
一般正味財産期末残額	283,445,619	240,819,626	42,625,993
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残額	0	0	0
指定正味財産期末残額	0	0	0
III 正味財産期末残高	**283,445,619**	**240,819,626**	**42,625,993**

4) 財産目録

平成 23 年 3 月 31 日現在

（単位，円）

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金・預金			
現金 現金手許有高	459,641		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	8,581,594		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	14,076,378		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	37,306,339		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	36,551,094		
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行本郷支店	149,870		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	929,309		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	352,923		
普通預金 みずほ銀行本郷支店	12,179,361		
定期預金 みずほ銀行本郷支店	143,893		
郵便振替貯金	912,625		
現金・預金合計	**111,643,027**		
(2) 前払金			
家賃	195,300		
会費自動振替手数料	5,943		
前払金合計	201,243		
(3) 未収金			
学会誌発行収入等	408,855		
流動資産合計		**112,253,125**	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	30,000,000		
(普通三菱東京 UFJ 銀行本郷支店)			
基本財産合計	30,000,000		
(2) その他の固定資産			
特定資産			
学術医療振興基金	99,875,176		
(普通三菱東京 UFJ 銀行春日町支店)			
100 周年記念事業引当預金	39,855,651		
(郵便振替貯金)			
国際交流基金	20,139,644		
(普通・りそな銀行本郷支店)			
退職給付引当預金	19,100,000		
特定資産合計	178,970,471		
什器備品	84,957		
保証金	930,000		
その他固定資産合計	179,985,428		
固定資産合計		**209,985,428**	
資産合計			**322,238,553**

科　　目	金　　額		
II.　負債の部			
1.　流動負債			
(1)　前受金			
平成 22 年度会費・部会費等	1,770,000		
(2)　未払金			
英文誌印刷費等	4,070,000		
日病会誌印刷費等	5,515,000		
会議費	93,984		
未払消費税等	400,000		
未払法人税等	3,027,300		
未払金合計	**13,106,284**		
(3)　預り金			
英文誌カラー印刷	4,666,000		
源泉所得税等	150,650		
預り金合計	**4,816,650**		
流動負債合計		**19,692,934**	
2.　固定負債			
(1)　退職給付引当金	19,100,000		
固定負債合計		19,100,000	
負債合計			**38,792,934**
正味財産			**283,445,619**

7.　各種委員会の委員構成（平成 23 年 4 月現在）

委員の交代があり，委員会の構成は以下のとおりとなった。

1.　企画委員会
向井　清（委員長），深山正久，松原　修，本山悌一，岡田保典，笹野公伸，佐藤昇志，寺田信行，上田真喜子，福本　学，落合淳志

2.　広報委員会
岡田保典（委員長），深山正久，黒田　誠，松原　修，向井　清，佐藤昇志，上田真喜子，山口　朗，安井　弥，藤井丈士，一宮慎吾，伊東恭子，宇於崎宏

2-2.　市民公開講座検討委員会
吉野　正（委員長），岡田保典，降幡睦夫，稲垣　宏，九嶋亮治，野々村昭孝，竹内賢吾，都築豊徳，横山繁生

3.　財務委員会
上田真喜子（委員長），深山正久，松原　修，向井　清，岡田保典，佐藤昇志，寺田信行

4.　学術委員会
佐藤昇志（委員長），深山正久，向井　清，岡田保典，笹野公伸，白石泰三，上田真喜子，山口　朗，安井　弥，張ヶ谷健一，金井弥栄，笠原正典，仲野　徹，小田義直，椙村春彦，当該年春期総会会長（佐藤昇志），秋期特別総会会長（黒田　誠）

4-2.　学術奨励賞選考委員会
松原　修（委員長），加藤良平，岡田保典，寺田信行，安井　弥，吉野　正，佐藤昇志（学術委員長），本山悌一（教育委員長），深山正久（病理専門医制度運営委員長）

4-3.　サマーフェスト委員会
松原　修（委員長），深山正久，藤盛孝博，福嶋敬宜，久岡正典，平戸純子，本間慶一，真能正幸，阪本晴彦，牛久哲男，田丸淳一，南口早智子（顧問：真鍋俊明）

4-4.　病理診断講習会委員会
向井　清（委員長），吉野　正，長谷川匡，廣瀬隆則，片岡憲章，三上芳喜，仁木利郎，坂元亨宇，渋谷和俊，鳥越俊彦

4-5.　支部選出学術委員会
白石泰三（委員長），原　　明，松川昭博，村田晋一，竹屋元裕，田村　元，立野正敏，螺良愛郎

4-6.　学術アドバイザー
浅田祐士郎，千葉英樹，降幡睦夫，林　良夫，北川昌伸，黒住昌史，松田道行，村垣泰光，内藤　眞，中島孝，中村卓郎，中里洋一，落合淳志，小笠原一誠，佐々木功典，下川　功，椙村春彦，上出利光，（顧問：廣橋説雄）

5.　研究推進委員会
安井　弥（委員長），加藤良平，佐藤昇志，池田栄二，戸田修二，樋野興夫，廣田誠一，中村栄男

6.　編集委員会
覚道健一（委員長），根本則道，本山悌一，向井　清，岡田保典，佐藤昇志，上田真喜子，安井　弥，高橋雅英，向井万起男

6-2.　Pathol Int 常任刊行委員会
高橋雅英（委員長），藤本純一郎，福嶋敬宜，平戸純子，廣瀬隆則，石田　剛，城　謙輔，鬼島　宏，増田（梅村）しのぶ，森永正二郎，本山悌一，向井　清，中谷行雄，野口雅之，落合淳志，小田義直，大島孝一，岡田保典，小野栄夫，坂元亨宇，渋谷和俊，清水道生，堤　　寛，都築豊徳，上田真喜子，横山繁生，吉野正

6-3.　剖検情報委員会
根本則道（委員長），藤原　恵，楠美嘉晃，高橋　学

6-4.　「診断病理」編集委員会
向井万起男（委員長），布村眞季（副），安田政実（副），矢持淑子（副），長谷川匡，鬼島　宏，内藤善哉，伊藤浩史，螺良愛郎，松川昭博，横山繁生（以上支部編集委員）

6-5.　癌取扱い規約委員会
向井万起男（委員長），伊藤以知郎，清川貴子，松野吉宏，森井英一，寺本典弘，渡邊麗子，渡辺みか，坂元亨宇，落合淳志，中里洋一，森永正二郎，野口雅之，田中祐吉，白石泰三，中塚伸一，廣瀬隆則，小田義直

7.　病理専門医制度運営委員会
深山正久（委員長），本山悌一，黒田　誠，根本則道，江石義信，川野　潔，小西　登，村田哲也，野口雅之，野島孝之，清水道生，田村浩一，向井万起男

7-2.　病理専門医試験委員会
野島孝之（委員長），川野　潔，伊丹真紀子，伊藤智雄，津田　均，羽賀博典，中澤温子，都築豊徳

7-3.　病理専門医資格審査委員会
黒田　誠（委員長），小西　登，林　一彦，上田善彦，

山城勝重，北條　洋

7-4.　病理専門医施設審査委員会
村田哲也（委員長），村田哲也，伊藤浩史，中村直哉，谷田部恭，齊尾征直

7-5.　病理専門医部会報編集委員会
清水道生（委員長），堤　　寛（副），望月　眞（副），佐藤昌明，鬼島　宏，上田善彦，福岡順也，大山秀樹，串田吉生，相島慎一

8.　医療業務委員会
根本則道（委員長），深山正久，黒田　誠，山口　朗，廣川満良，湊　　宏，大橋健一，九島巳樹，杉谷雅彦

8-2.　コンサルテーション委員会
森谷卓也（委員長），今村好章，泉　美貴，黒瀬　顕，大島孝一，八尾隆史

8-3.　社会保険委員会
稲山嘉明（委員長），根本則道，金城　満，小西英一，大倉康男，佐々木毅，島村和男，若狭朋子，渡邉一男，（顧問：長村義之）

8-4.　病理診断体制専門委員会
佐々木毅（委員長），黒田　誠，根本則道，相島慎一，羽山忠良，岩佐葉子，岸川正大，三代川斉之，大城真理子，谷山清己，辻本正彦，安田政実，（顧問：原正道，水口國雄）

8-5.　精度管理委員会
鬼島　宏（委員長），秋山　太，羽場礼次，林徳眞吉，加藤哲子，木佐貫篤，笹島ゆう子，和田　了，柳澤昭夫

8-6.　剖検・病理技術委員会
柳井広之（委員長），遠藤希之，亀井敏昭，河原邦光，松岡健太郎，長尾俊孝，長坂徹郎，庄盛浩平

9.　口腔病理専門医制度運営委員会
山口　朗（委員長），黒田　誠，出雲俊之，豊澤　悟，前田初彦，原田博史，仙波伊知郎，田中陽一

9-2.　口腔病理専門医試験委員会
豊澤　悟（委員長），仙波伊知郎，田中陽一，原田博史，入江太朗

9-3.　口腔病理専門医資格審査委員会
仙波伊知郎（委員長），原田博史

10.　教育委員会
本山悌一（委員長），白石泰三，吉野　正，長嶋洋治，長沼　廣，谷本昭英，外丸詩野，横崎　宏

11.　国際交流委員会
笹野公伸（委員長），松原　修，森谷鈴子，鈴木　貴，横井豊治，米澤　傑，阿部佳子

12.　支部委員会
橋本　洋（委員長），佐藤昇志，本山悌一，加藤良平，白石泰三，寺田信行，吉野　正

13.　倫理委員会
井藤久雄（委員長），本山悌一，伏木信次，伊藤雅文，武村民子，田中伸哉，吉見直己，増井　徹（外部委員），中島みち（外部委員），宇都木伸（外部委員）

14.　リスクマネージメント委員会
井内康輝（委員長），佐々木功典，堤　　寛，児玉安司（外部委員）

15.　死因究明委員会
黒田　誠（委員長），藤田眞幸，江村　巖，池田　洋，森下由紀雄，居石克夫，高澤　豊

16.　人材育成委員会
橋本　洋（委員長），味岡洋一，浅田祐士郎，羽賀博典，石川雄一，佐々木素子，佐々木なおみ，植村芳子，渡辺みか，加藤良平，豊國伸哉

16-2.　若手医師確保に関する委員会
豊國伸哉（委員長），樋口佳代子，伊倉義弘，今井田克己，南條　博，河野眞司，茅野秀一，西川祐司，定平吉都，鷹橋浩幸

16-3.　男女共同参画委員会
加藤良平（委員長），絹川典子，久保田佳奈子，増田友之，鍋島一樹，小野謙三，坂井田紀子，武島幸男

8.　平成 23 年度病理専門医研修施設（認定施設）更新機関

（第 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32　180 施設）

期間 2 年間　平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

第 2 回　認可（13 施設）

認定番号	施　設　名
2005	山形県立中央病院
2006	（財）竹田綜合病院
3019	埼玉県立がんセンター
3020	公益財団法人がん研究会有明病院
3021	JR 東京総合病院
3022	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
4007	新潟市民病院
4008	名古屋第一赤十字病院
4009	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
5009	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター
5010	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院
7002	九州厚生年金病院
7003	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

第 4 回　認可（2 施設）

認定番号	施　設　名
3028	日本赤十字社医療センター
4010	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院

第 6 回　認可（5 施設）

認定番号	施　設　名
3035	越谷市立病院
3039	総合病院国保旭中央病院
3040	東京都立小児総合医療センター

4015　長野赤十字病院
5017　奈良県立奈良病院

第 8 回　認可（8 施設）

認定番号	施　設　名
3045	公立学校共済組合関東中央病院
3046	東京都立多摩総合医療センター
4017	静岡県立総合病院
4018	社会保険中京病院
5019	（財）日本生命済生会附属日生病院
5020	兵庫県立西宮病院
5021	兵庫県立淡路病院
6017	広島市立安佐市民病院

第 10 回　認可（10 施設）

認定番号	施　設　名
3002	群馬県立がんセンター
3052	伊勢崎市民病院
3054	東京都済生会中央病院
4024	長岡赤十字病院
4025	富士市立中央病院
4026	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院
4027	富山県立中央病院
5012	（財）住友病院
5025	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター
7011	北九州市立医療センター

第 12 回　認可（10 施設）

認定番号	施　設　名
3060	（株）日立製作所日立総合病院
3061	東京歯科大学市川総合病院
3062	東京都立墨東病院
3063	公立昭和病院
3064	恩賜財団済生会横浜市南部病院
4030	公立陶生病院
6019	松山赤十字病院
7012	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院
7013	熊本市立熊本市民病院
7014	宮崎県立宮崎病院

第 14 回　認可（11 施設）

認定番号	施　設　名
2015	（財）温知会会津中央病院
3069	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
3070	医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
3071	東京都立大塚病院
3072	東京警察病院
3073	医療法人社団健生会立川相互病院
4034	藤枝市立総合病院
4035	社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院
4036	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院
5033	NTT 西日本大阪病院
6021	広島赤十字・原爆病院

第 16 回　認可（4 施設）

認定番号	施　設　名
1010	JA 北海道厚生連旭川厚生病院
2017	盛岡赤十字病院
3076	独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院
3077	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院

第 18 回　認可（11 施設）

認定番号	施　設　名
3079	総合病院土浦協同病院
3080	さいたま市立病院
3081	独立行政法人国立がん研究センター東病院
4016	名古屋第二赤十字病院
4042	黒部市民病院
4043	豊橋市民病院
4045	小牧市民病院
5040	大阪市立総合医療センター
5041	独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
6024	高松赤十字病院
7019	佐世保市立総合病院

第 20 回　認可（3 施設）

認定番号	施　設　名
3086	財団法人東京都保健医療公社荏原病院
4047	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院
5044	独立行政法人国立病院機構神戸医療センター

第 22 回　認可（27 施設）

認定番号	施　設　名
1012	KKR 札幌医療センター
2022	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院
2023	仙台市立病院
2024	東北厚生年金病院
2025	石巻赤十字病院
2026	秋田赤十字病院
3048	さいたま赤十字病院
3051	横須賀市立市民病院
3096	（財）東京都保健医療公社大久保病院
3097	医療法人財団河北総合病院
4003	愛知県がんセンター中央病院
4005	富山市立富山市民病院
4019	独立行政法人岐阜県立多治見病院
4051	諏訪赤十字病院
4054	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
5024	市立豊中病院
5047	社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院
5048	東大阪市立総合病院

5049　公立豊岡病院組合立豊岡病院
5051　日本赤十字社和歌山医療センター
6008　香川県立中央病院
6025　松江赤十字病院
6026　独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院
6027　徳島赤十字病院
7008　鹿児島市立病院
7021　福岡赤十字病院
7022　独立行政法人国立病院機構熊本医療センター

第 24 回　認可（11 施設）

認定番号	施　設　名
1006	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
3104	独立行政法人国立病院機構栃木病院
3106	桐生厚生総合病院
4059	独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター松本病院
4060	済生会新潟第二病院
5007	兵庫県立尼崎病院
5063	社会保険神戸中央病院
5064	神戸市立医療センター西市民病院
5065	滋賀県立成人病センター
7025	公立八女総合病院
7026	医療法人白十字会佐世保中央病院

第 26 回　認可（21 施設）

認定番号	施　設　名
1023	北海道立子ども総合医療・療育センター
1024	医療法人渓仁会手稲渓仁会病院
3047	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
3094	医療法人社団東光会戸田中央総合病院
3111	利根保健生活協同組合利根中央病院
3112	独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
3113	埼玉県済生会川口総合病院
3114	北里研究所病院
3116	日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院
3117	川崎市立井田病院
3118	財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
4066	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
4067	新潟県立新発田病院
4068	高岡市民病院
5068	彦根市立病院
5070	医療法人社団洛和会音羽病院
5072	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
5073	独立行政法人労働者健康福祉機構和歌山労災病院
6034	高松市民病院
7032	千鳥橋病院
7033	医療法人社団新日鐵八幡記念病院

第 28 回　認可（23 施設）

認定番号	施　設　名
1009	社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
2036	みやぎ県南中核病院
3123	公立藤岡総合病院
3125	埼玉社会保険病院
3126	埼玉県立小児医療センター
3127	財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院
3128	独立行政法人国立病院機構千葉医療センター
3131	社会医療法人財団石心会川崎幸病院
4020	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院
4072	富山赤十字病院
4073	富山県済生会高岡病院
4074	JA 長野厚生連小諸厚生総合病院
4075	静岡市立清水病院
4076	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
4077	半田市立半田病院
4078	稲沢市民病院
5050	製鉄記念広畑病院
5079	医療法人生長会ベルランド総合病院
5080	国家公務員共済組合連合会大手前病院
6037	徳島県立中央病院
6039	福山市医師会診断病理学センター
6040	独立行政法人国立病院機構東広島医療センター
7037	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院

第 30 回　認可（11 施設）

認定番号	施　設　名
1027	医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院
4081	静岡赤十字病院
4082	名古屋記念病院
4083	名古屋市立東部医療センター東市民病院
5082	独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
5083	姫路赤十字病院
6045	三豊総合病院
6046	財団法人永頼会松山市民病院
6047	高知赤十字病院
6048	高知医療センター
7040	独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院

第 32 回　認可（10 施設）

認定番号	施　設　名
3023	独立行政法人国立病院機構相模原病院
3095	独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院
3139	社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院
4087	土岐市立総合病院
4088	恩賜財団済生会松阪総合病院
5061	神戸協同病院
5085	独立行政法人国立病院機構刀根山病院

5086　西宮市立中央病院
7041　日本赤十字社長崎原爆病院
7042　社会医療法人敬愛会中頭病院

9.　平成 23 年度病理専門医研修施設（登録施設）更新機関
（第 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32　106 施設）

期間 2 年間　平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

第 2 回　認可（3 施設）

登録番号	施　設　名
3028	総合病院厚生中央病院
3029	川崎医療生活協同組合川崎協同病院
4024	浜松赤十字病院

第 4 回　認可（3 施設）

登録番号	施　設　名
5024	公立南丹病院
6011	総合病院水島協同病院
7018	社会保険宮崎江南病院

第 6 回　認可（6 施設）

登録番号	施　設　名
2011	地方独立行政法人秋田県立病院機構秋田県立脳血管研究センター
3036	医療法人社団順江会江東病院
4002	市立島田市民病院
4028	市立岡谷病院
4030	綜合病院高山赤十字病院
7025	総合病院鹿児島生協病院

第 8 回　認可（2 施設）

登録番号	施　設　名
3055	横浜市立みなと赤十字病院
6016	下関市立中央病院

第 10 回　認可（4 施設）

登録番号	施　設　名
3058	神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院
3060	神奈川県立循環器呼吸器病センター
5036	市立吹田市民病院
7030	鹿児島市医師会病院

第 12 回　認可（1 施設）

登録番号	施　設　名
4047	医療法人(社団)中信勤労者医療協会松本協立病院

第 14 回　認可（4 施設）

登録番号	施　設　名
2016	津軽保健生活協同組合健生病院
5045	西脇市立西脇病院
6018	岡山医療生活協同組合総合病院岡山協立病院
7033	国家公務員共済組合連合会新小倉病院

第 16 回　認可（3 施設）

登録番号	施　設　名
7037	福岡市立こども病院・感染症センター
7038	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
7039	医療法人同心会古賀総合病院

第 18 回　認可（4 施設）

登録番号	施　設　名
3078	東芝病院
4064	長野県立こども病院
5049	医療法人川崎病院
6025	独立行政法人国立病院機構福山医療センター

第 22 回　認可（11 施設）

登録番号	施　設　名
1018	苫小牧市立病院
2010	岩手県立宮古病院
4076	独立行政法人国立病院機構長野病院
4077	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
5060	公立甲賀病院
5065	社会医療法人きつこう会多根総合病院
6002	国家公務員共済組合連合会広島記念病院
6037	独立行政法人国立病院機構善通寺病院
6038	社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院
6039	済生会西条病院
6040	愛媛県立今治病院

第 24 回　認可（6 施設）

登録番号	施　設　名
1021	江別市立病院
1022	滝川市立病院
3091	神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院
4083	磐田市立総合病院
5068	社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院
6041	独立行政法人国立病院機構高知病院

第 26 回　認可（13 施設）

登録番号	施　設　名
1023	独立行政法人労働者健康福祉機構北海道中央労災病院
2025	市立秋田総合病院
2027	気仙沼市立病院
3096	社会保険群馬中央総合病院
3097	群馬県済生会前橋病院
3099	社会保険山梨病院
4087	社会福祉法人聖霊会聖霊病院
4088	医療法人偕行会名古屋共立病院
4090	国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院

5075　医療法人宝生会 PL 病院
5077　神戸百年記念病院
6044　公立学校共済組合中国中央病院
6045　財団法人津山慈風会津山中央病院

第 28 回　認可（10 施設）

登録番号	施　設　名
1025	名寄市立総合病院
1026	総合病院北見赤十字病院
1027	JA 北海道厚生連帯広厚生病院
2028	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院
4094	伊那中央病院
4095	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院
5080	社会医療法人景岳会南大阪病院
6049	財団法人倉敷成人病センター
7047	宮崎県立日南病院
7054	大分赤十字病院

第 30 回　認可（17 施設）

登録番号	施　設　名
1031	総合病院伊達赤十字病院
1032	総合病院釧路赤十字病院
1033	特定医療法人北楡会　札幌北楡病院
1034	医療法人社団北斗　北斗病院
3112	千葉県済生会習志野病院
3113	佐野厚生総合病院
4089	医療法人社団志聖会犬山中央病院
4098	安曇野赤十字病院
4100	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
4111	福祉医療センター名古屋市厚生院附属病院
5083	社会医療法人阪南医療福祉センター阪南中央病院
5084	市立小野市民病院
5085	三木市立三木市民病院
6053	独立行政法人国立病院機構浜田医療センター
6054	独立行政法人労働者健康福祉機構山口労災病院
7059	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
7060	公益社団法人鹿児島共済会南風病院

第 32 回　認可（19 施設）

登録番号	施　設　名
1024	留萌市立病院
2031	独立行政法人国立病院機構弘前病院
3118	群馬県立心臓血管センター
3119	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院
3120	社団法人山梨勤労者医療協会甲府共立病院
4043	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
4115	岐阜赤十字病院
5014	近江八幡市立総合医療センター
5091	綾部市立病院
5092	大阪府済生会野江病院
5093	市立池田病院
5094	市立芦屋病院
6059	さぬき市民病院
6060	香川県厚生農業協同組合連合会屋島総合病院
7069	国家公務員共済組合連合会浜の町病院
7070	宗像医師会病院
7071	社会医療法人大成会福岡記念病院
7072	大分県済生会日田病院
7073	佐賀県立病院好生館

10.　会員の訃報

以下の方がご逝去されました。
福西　亮 名誉会員（平成 23 年 7 月 6 日ご逝去）
中島輝之 学術評議員（平成 22 年 6 月 26 日ご逝去）

お知らせ

1.　2012 年度女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」受賞候補者の推薦について

申込み締切り：2011 年 11 月 30 日
連絡先：女性科学者に明るい未来をの会
〒 247-0022　横浜市栄区庄戸 5-14-3
E-mail：saruhashi2012@saruhashi.net

「日本病理学会 100 周年記念事業特別基金」プロジェクト公募のお知らせと募集要項

東日本大震災による困難な状況下ではありましたが，横浜パシフィコにて第 100 回日本病理学会学術総会が開催されました。会期中の 4 月 29 日，常陸宮殿下の御臨席を賜り，大勢の会員の参加を得て，日本病理学会 100 周年記念式典を厳かに滞りなく挙行することができました。病理学会会員の皆様の強い意思とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

病理学会総会においてご報告しましたように，日本病理学会 100 周年記念事業に対する寄付金から東日本大震災への義援金 500 万円を供出いたしましたが，支出に関する努力によって当初の支出予定額より低くおさえられる見込みとなりました。

この収支差額の活用法につきまして，去る 6 月 17 日に記念事業財務委員会，および病理学会財務委員会の合同委員会を開催し，慎重な討議を行いました。今秋の病理学会総会において最終的な承認をいただく必要がありますが，以下のように決定いたしました。

1. この収支差額を「日本病理学会 100 周年記念事業特別基金」として活用する。
2. その活用法の具体的内容は，病理情報管理ネットワークセンターの運営費（5 年間，500 万円）とす

るほか，日本病理学会 100 周年記念事業の理念に基づき，日本病理学会のさらなる発展のために役立つプロジェクト（例えば，人材育成，男女共同参画など）を広く会員から募集し，採択されたプロジェクトに資金を供出する。

したがいまして，下記の要領で「日本病理学会 100 周年記念事業特別基金」プロジェクトを公募いたします。ふるってご応募下さいますようお願い申し上げます。

公募概要

日本病理学会 100 周年記念事業の理念に基づき，日本病理学会のさらなる発展のために役立つプロジェクトを 4 件程度募集する。なお，内 1 件は病理情報ネットワークセンターの活用に関するものとする。

・支 給 額：1 件当たり，一年 100 万円を上限とする。
・支給期間：5 年（初年度は平成 23 年度とする）
（なお，3 年目および終了年にプロジェクトの達成状況を 100 周年記念事業財務委員会・病理学会財務委員会合同委員会に報告するものとする）
・募集期間：平成 23 年 8 月 1 日～ 9 月 30 日
・応募方法：所定の申請用紙に記入し，病理学会事務局まで郵送にて提出する。
申請用紙は日本病理学会ホームページよりダウンロードのこと。
・審査・採択：100 周年記念事業財務委員会・病理学会財務委員会合同委員会において審査を行い，理事会の承認後，平成 23 年度日本病理学会秋期大会時の総会において報告し，承認を得るものとする。

2011 年度

病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催　日本病理学会後援

日　時：平成 23 年 11 月 19 日（土）　9：00〜17：30
場　所：東京慈恵会医科大学（東京都港区西新橋 3-25-8）

教育シンポジウム　9：00-11：45
主題：Surgical Pathology Update 2011（IAP 日本支部設立 50 周年記念）
モデレーター：長村　義之　（国際医療福祉大学教授・病理診断センター長　三田病院）
Stevens G. Silverberg（Professor Emeritus, Department of Pathology, University of Maryland, USA）

1. Neuroendocrine tumors：WHO Classification 2010
   Günter Klöppel（Department of Pathology, Technical University München, Germany）
2. Neoplastic liver disease：WHO Classification 2010
   Robert Eckstein（Pacific Laboratory Medicine Services, Royal North Shore Hospital, Australia）
3. Diagnostic clue in breast Pathology
   Takuya Moriya（Department of Pathology, Kawasaki Medical School）
4. IgG4-related systemic disease
   Giuseppe Zamboni（Department of Pathology, University of Verona and Ospedale Sacro Cuore-Don Calabria, Italy）
5. Pancreatic cancer：WHO Classification 2010
   N Volkan Adsay（Department of Pathology, Emory University, USA）

当日はご自由にご参加ください。病理専門医の資格更新単位として 5 単位が得られます。
参加費（ハンドアウト代含む）：IAP 日本支部会員 3,000 円，非会員 4,000 円。

スライドセミナー　13：15-17：30

1 時限目　13：15-15：15

＊A-1	前立腺癌 ― 良悪性の鑑別を中心に ―	鷹橋　浩幸（東京慈恵会医科大学病理学）
＊B-1	卵巣腫瘍の病理	安田　政実（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科）
C-1	唾液腺腫瘍の病理 ― 新 WHO 分類を踏まえて ―	長尾　俊孝（東京医科大学人体病理学講座）
D-1	大腸ポリープの病理診断	岩下　明徳（福岡大学筑紫病院病理部）

2 時限目　15：30-17：30

＊A-2	皮膚色素性病変の病理診断	泉　　美貴（東京医科大学医学教育学講座）
＊B-2	骨腫瘍の病理	小田　義直（九州大学大学院医学研究院形態機能病理学）
C-2	神経系腫瘍（中枢系および末梢神経）	廣瀬　隆則（徳島県立中央病院病理診断科）
D-2	乳腺針生検の病理診断	森谷　卓也（川崎医科大学病理学 2）

＊印は新規コース。事前資料としてバーチャルスライド（DVD-R）を送付予定です。病理専門医の資格更新単位として 10 単位が得られます。お申し込みは 2011 年 8 月 1 日（月）正午より，IAP のホームページ（http://www.iapjapan.org/index.html）に直接アクセスして，お申し込みください。
受講料（1 コース）：IAP 日本支部会員 7,000 円，非会員 12,000 円です。

連絡先：IAP 日本支部　教育委員長　清水　道生
（スライドセミナー担当）
埼玉医科大学・国際医療センター・病理診断科
〒350-1298　埼玉県日高市山根 1397-1
TEL 042-984-0609　　FAX 042-984-0609

IAP 日本支部　常任幹事　加藤　良平
（教育シンポジウム担当）
山梨大学医学工学総合研究部人体病理学
〒409-3898　山梨県中央市下河東 1110
TEL 055-273-9529　　FAX 055-273-9534